The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	こうようと写真
Author(s)	田中, 国士
Citation	makoto. 1975, 12, p. 6-6
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86216
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

こうようと写真

大阪府藤井寺保健所
田中国士

九月になると、いっせいに読書の秋、天高く馬肥ゆる秋などと書きたて始めるが、私は、食べ物の方には目が向いても読書の方はさっぱり手が出ない。それより今年はどこのモミジがいいかなと、ガイドブックや山の本を引っぱり出してくるのが例年である。目的は、紅葉の写真を撮ることである。名所といわれる所も一度は行っておかないと他の場所との比較にもならないし、基本的な見方も出来ないと思うので出来るだけそういう所へも行くことにしている。しかし、御存じのとおり人が多くて写真どころの騒ぎではなく、疲れに行くようなもので、子どもでも連れて行こうものなら、そらだっこ、そらジュースとひと苦労である。前を行く御婦人のもみじ模様の着物でも見ている方がずっと楽しい……

モミジの写真を撮るのが目的でわざわざ出かけたのは京都の高雄であった。毎年毎年人が大勢おしかけるだけあって美しいものであった。しかし、本当にすばらしいと思ったのは北アルプスの涸沢に入った時であった。

北アルプス涸沢にて

二、三〇〇米級の山での紅葉がすばらしいということは以前から聞いていたが、夏山しか知らない私にとって秋の山はこわいものとして頭にこびりついていた。ところが、あるカメラ誌で涸沢のすばらしい紅葉の写真が載っていたのを見て、ぜひ行ってみようと思い十月初め友人を無理やり連れ出して出かけた。上高地へ入るまでは雨がパラついていたが歩き始めると晴れ間が出はじめ天気は順調に回復していった。上高地周辺は、緑一色で紅葉している木は見られない。せっかく来たのに早すぎてだめかもしれないと心配していたが、高度を増すにしたがって紅葉した木が一本、又一本と目につき出し、ついには黄金のトンネルを通っているような気分になってしまった。ここまで来ると木は多いし、山は広いしで、どこに重点をおいたらいいのかわからなくなるくらいで、しばらくカメラをぶらさげたままであった。頭の中で何を撮るのか細かく計算していたのでは思うようなものが撮れないので、自分で感激したもの、撮りたかったものを素直にねらうのが良いのではないかと考え、シャッターを押すようになった。

最近の写真雑誌を見ていると明かるいものが少なく、技巧的なものとか組合わせに頼ったものなどが多く、本来の写実性というものからいくぶん離れているようであまり面白くない。流行もあるし、物の考え方も違うのだからとりたてて忌みきらうのがおかしいのかもしれない。

いい場所、いい物に出会ってカメラにおさめようと考えた時、その人の気持ちを多くの人に伝えるには、見たものそのものをしっかりとらえるべきだと、私は考えている。変にねじまげる必要など何も無いはずである。そうなると秋の写真でも難しいことは無く、秋の感じを出すにしてもあの薄い葉があざやかな紅や黄色で一枚一枚きらきら輝くとき、そのすばらしい感じを出すことがその時の一瞬の夢で他のことは何も考えないでシャッターを押していくわけである。涸沢でもそのことしか頭に無く手当り次第にシャッターを押した。

十月の山は大変寒く冬の感じだが朝日がさすと共に全山黄葉（紅葉）が実にすばらしいもので、私は友人を山小屋にほったらかしにして撮影に夢中であった。一度調子が出ると欲ばるもので涸沢全体をねらってみようと近くの尾根に登りかけたが、日没の方が早くて十分なものは撮れなかった。

涸沢では、カンバ類が多く、葉は美しい黄緑から黄色になっていくが、これは葉の中の葉緑素が分解して残された黄色色素（カロチノイド）が目立つようになるためである。他には、イチョウ、ポプラなどがある。また、カエデやナナカマド、ウルシなどは、葉の細胞液にアントシアン系の紅色の色素が蓄積するためで、低温になると葉柄のつけ根の細胞が死に、糖等の移動がさまたげられる。これが紅葉である。温度差の大きい年は色があざやかになる。高所では、寒さが急に来るから一夜にして褐色の山に変化するそうで山の紅葉は短い。

秋の写真は、ごく近くでも楽しめるが時には遠くへ足を伸ばすのもいいもので、虫の音も聞こえはじめたし、皆様も一度きれいな空気を胸いっぱい吸ってすすきやもみじの写真を撮りに出かけてみてください。